



宝永小だより

No.12

福井市宝永小学校

令和7年9月17日

学校教育目標：ひとり立ちできる子 ～心身共にたくましく、進んで学び合い、高め合う児童の育成～
めざす児童像：進んで学び合える子・協力し合える子・心と体を鍛える子・ふるさとを大切にする子

校内運動会に向けて練習開始

スローガン決定！！

仲間とめざそう！心をついに協力し、楽しい運動会にしよう！

9月25日（木）の校内運動会に向けて、色別応援や競技種目等、様々な練習が始まりました。校内運動会では、体育の学習で培った体力および運動技能を総合的に発表し、仲間と競争したり協力したりすることの楽しさや、体を動かすことの素晴らしさ、気持ちよさを実感し、進んで運動に親しもうとする態度を育てることを目的としています。そして、本年度のスローガンでは『同じ学年の仲間、にこフレ班の仲間、同じ色の仲間、様々な仲間と競技や応援など心をついに協力して取り組み、勝ち負け関係なく楽しい運動会にしましょう』と、子どもたちは目指す校内運動会のあり方を具体的に示しました。

特に6年生が夏休み前から準備を進めてきた応援練習は、9月2日（火）から全校で始まり、各色の6年生が声を張り上げて、自分たちが考えた応援を下級生に教えていました。6年生は、下級生の声出しや動きを褒めながら進めていました。そのうち、6年生の一生懸命さが下級生にも伝わり、動きが大きくなってきました。本番が楽しみです。応援合戦では、次の4点が審査されます。①態度：応援合戦中の様子 ②元気：色全体の子もたちに元気が溢れているか ③チームワーク：振り付けや応援歌など、色全体の子もたちの動きのそろい具合 ④アイディア：応援合戦の中に表れるアイディアの豊かさや、子どもらしい発想の工夫。どの色も、優勝や応援賞を目指して、6年生の子もたちが試行錯誤しながら、練習を重ねています。

＜「団長・応援団長からのメッセージ」 上から赤・青・黄組＞

赤組



【団長】ぼくは、赤色のみんなが心をついにあわせられる赤組にしたいです。なので、1人1人が競技や応援に一生懸命取り組みましょう。そして応援で大きな声をだして、競技ではあきらめずに一生懸命走りましょう。今年は必ず優勝できるようにがんばりましょう。

【応援団長】私は赤組の応援を見ている人が楽しく元気になるようなものにしたいと思いました。なので、1人1人が大きな声を出して、ふりをていねいに踊って、共に優勝を目指して頑張りましょう。全体の練習でも、1人1人が大きな声で、真けんに取り組んでいると、見ている人も本当に元気になれると思います。私は沢山の人が見ていると、応援団長としてふさわしいと、思われるように頑張ります。

青組



【団長】ぼく達、6年生にとっては、最後の運動会です。この、青組というチームで優勝するために、2つのことを守ってください。1つ目は、頑張っている仲間にもポジティブな言葉をかけ合うこと。2つ目は、自分から大きな声を出して、チームを盛り上げることです。勿論、ぼくも全力を尽くします。失敗してもいいので、最後まで堂々と戦いぬいてください。全力で応援する気持ちを忘れずに、みなさん、一緒に頑張りましょう。

【応援団長】青組の応援で頑張してほしいことが二つあります。一つ目は、青組の応援を見ている人たちが、やる気や元気をもらえるような応援をしましょう。そのためにふり付けなどを失敗しても最後までやり切り堂々としていきましょう。二つ目は、友達がふり付けなどがわからなかったら教え合いましょう。みんなで協力して頑張りましょう。

黄組



【団長】黄組の一人一人が力を出して、心をついに出来る色にしたいです。そのために、みんなが種目に集中し、全力で取り組み、助け合い、自分から進んで仲間に応援をしていきましょう。また、失敗しても、その子を責めたりせずに「大丈夫だよ。」や「次、がんばろう」というあたたかい、プラスな言葉をかけて、はげまし合いましょう。特に「大玉送り」や「応援合戦」は全学年参加なので、そこで、心をついに協力出来るといいなと思います。

【応援団長】今年の黄組の応援は、一人一人が声を出して明るく楽しく応援をしたいです。運動会で1位を取るためには、クラスや黄組のみんなで練習をすることだと思います。仲よく楽しく1位を取るために、みんなでこれからもたくさん声を出して練習をしていきましょう！

＜応援練習の様子＞

子どもたちは、応援練習以外にも、徒競走や学年種目、表現、集団演技などの練習に励んでいます。5・6年生は、委員会ごとの仕事も担っています。校内運動会では、本番までの練習も含めて、精一杯競技したり応援した

りする中で、一人一人が縦割り班の一員として協力し、互いに思いやる心や信頼する心を育んだり、自分の役割を自覚し、責任をもって行動したりしてほしいと考えています。順位等の結果だけではなく、その過程を大切にしたいと思います。学年に応じて学んで得ることは異なりますが、学校生活がより明るく豊かなものになるような体験の一つになることを願っています。

【今年度の校内運動会について】 今年度の校内運動会も、午前中のみで開催となります。保護者の皆様には文書でお知らせしましたように、保護者参観場所でご参観ください。授業の一環ですので、子どもたちとの接触はご遠慮ください。一生懸命に取り組む子どもたちの姿をご覧いただき、応援していただけたらと思います。

2年生 お年寄りへメッセージを贈る 8月29日(金)

宝永地区敬老会において、2年生全員が75歳以上の会員の皆様へメッセージ入りの絵を描きました。子ども一人一人が思い描くおじいちゃんとおばあちゃんは優しさに溢れ、にこやかに温かい表情ばかりでした。また、その絵には「いつもありがとう」「長生きしてね」「ずっと元気でいてね」「いつも すてきなえがお ありがとう」など、おじいちゃんやおばあちゃんの健康と長寿を願う素敵なメッセージが添えられました。子どもたちは自分のおじいちゃんとおばあちゃんを思い浮かべ、日頃の感謝の気持ちを絵や言葉に表していたように思えます。



＜「長生きしてね」＞

宝永社会教育会によると、令和7年度の宝永地区の75歳以上の方は、1,028名おられるそうです。その中には宝永小学校の見守り隊を、今も続けてくださっておられる方もいます。本当にありがとうございます。そして、敬老の日おめでとうございました。

1年生 モルモットのモコちゃんにご対面 9月1日(月)

福井県獣医師会 学校飼育動物事業委員会委員長の〇〇〇〇〇様が、1年教室へ静岡県で生まれた生後3ヶ月ほどのモルモットを届けてくださいました。モルモットの体重は400gほどであることが、〇〇様より子どもたちに伝えられました。子どもたちは、モルモットがあまりにもかわいらしいためか、食い入るように見ていました。そして、〇〇様が育てておられるエリザベスちゃん(体重1kgほど)を取り出して、子どもたちに比べて見せると、「えっ、小さい」と驚きの声が子どもたちから上がりました。その後、子どもたちは7月にモルモットを育てるためのお試し期間を経験していましたが、モルモットの抱っこの仕方を改めて教えていただき、モルモットを膝に乗せたり、抱っこしたり、体温を感じながら優しくなでてあげたりしました。さらに、子どもたちは〇〇様の支援を受けて、モルモットの心臓の音も聴診器を通して聞くことができました。この日から、モコちゃん(3代目を襲名)が1年生の教室で過ごしています。モコちゃんを見つめているときの子どもたちの目は優しく、自然と笑みがこぼれています。今後、子どもたちがモコちゃんの世話に自ら関わっていくことで、生き物への親しみをもち、生命の尊さを実感してくれることと思います。そして、子どもたちの優しさや思いやりを育成することにも繋がることを期待しています。



＜ようこそモコちゃん 1年教室へ＞

3年生 スーパーマーケット見学 9月8日(月)

社会科「店ではたらく人」の学習の一環として、地域のスーパーマーケットである「グルメ館」を見学させていただきました。子どもたちは、バックヤードや各売り場を興味津々に見ていました。お店のスタッフの方の丁寧な対応のおかげで、大変充実した活動ができました。子どもたちは見学を通して、教科書で学んだ知識を実際に確かめ、理解を深めることができました。

＜児童の感想＞ いつも入れない場しよに入りました。やさいをすごいスピードで切っていました。おもっていたより広くてたくさんの人がはたらいっているのを知ってびっくりしました。おそうざいを作っている人が一どに多く作っているのがすごいと思いました。スライダーやおいもをやくきかはやさかなをやくきかなどみたことのない大きなきかいははじめてみました。今夏のきせつのにんきしょう品はつめたいジュースやアイスが、にん気なのをはじめて知りました。スーパーのへやにおおきなれいぞうこといとうがありました。れいぞうこの中は、少しさむいくらいひんやりしていました。

＜児童の感想＞ グルメ館松本店にいてみて、店のしょう品がならんでいるうらにはすごい事があって、肉はてさぎょうじゃなくてスライスするきかいがありました。れいとうしょう品はものすごくさむいー22どでれいとうして、入るとものすごくさむかったです。やさいを入れるときにはきかいではなく、手さぎょうで大こんを入れていました。魚などはすべて手で切ったりしていました。魚がくさらないように氷に魚を入れておいていました。グルメ館のくふうは、いろいろなくふうがありました。

* 応援練習の時間が終了すると、6年生の子どもたちは、各色の担当の教諭からアドバイスをもらいます。そして、それを次回の応援練習に生かしています。応援が仕上がっていくことで、6年生の子どもたちは、手応えとやりがいを実感しています。上手くいくことも、上手くいかないこともあると思いますが、仲間と情報共有して、成功に導いていってくれることを願っています。